岩手県立久慈工業高等学校　校報

久慈工魂（スピリッツ）

生徒の輝く姿が見える楽しい学校

No.7　令和４年７月 22 日（金）

久慈地区の小中学生を招いた体験学習会に向けて、電子機械科・建設環境科とも、準備を進めています。来校された皆さんに、各学科の特色と魅力を理解していただけるよう、体験内容に工夫を重ねています。

校内体育大会

校内体育大会が、６月 30 日・７月１日の２日間、開催されました。バレーボールや卓球、バスケットボールなどの球技のほか、綱引き、騎馬戦の７つの競技で総合優勝を競いました。各クラスが、オリジナルのＴシャツで競技に挑み、熱戦が繰り広げられました。総合優勝には、建設環境科３年が輝きました。

生徒会副会長の電子機械科３年玉川裕貴君は、企画運営を担当して「各クラスが団結し、楽しい雰囲気の行事にすることができました。」と話していました。

木工資材受贈式

高校生ものづくりコンテスト岩手県大会の練習用として、久慈職業訓練協会から、木工資材を寄贈していただきました。木材加工部門に出場する選手たちは、入賞を目指して、技能の向上に日々励んでいます。

講座：地域未来学

講座「地域未来学」が、７月 21 日に開講しました。第１回のテーマは、「防災・復興のための理系・文系の協働とは」です。大阪大学大学院人間科学研究科の宮本匠准教授から、本校の２・３年生を対象に、講義を行っていただきました。

オンラインによる講義では、災害による犠牲者を減らしていくためには「人と人とがつながり、被災者の孤立を防ぐ」ことや災害を減らすためには「自然を見る人と、人びと・社会を見る人が協力する」ことの重要性を強調されていました。